★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

☆☆★　いわて マナビィ マガジン　★☆☆

☆★　No.116　2016. 7.22.　★☆

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

**********　ＩＮＤＥＸ　**********

１．センター便り　『先生方も対象とした研修会』
２．教振なう！　『全国初！ネット依存から脱却させる合宿』
３．編集後記　～ピエロが行く！～

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

１．センター便り　『先生方も対象とした研修会』

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

当センターは生涯学習・社会教育関係職員及び有志ボランティアの皆様の研修施設でありますが、夏休み期間中は先生方も対象とした研修会を企画しています。7 月 29 日（金）の「コミュニケーションスキルアップ研修会」と 8 月 8 日（月）の「学校と地域の協働のための研修会」です。

「コミュニケーションスキルアップ研修会」は、日常の会話の中で良好な人間関係を築く言葉遣いやマナーを身につけ、電話対応や接遇対応において相手の話を聴く力や相手に対して話す力を高める研修です。官公署や一般企業では職員研修として行われているものですが、学校では保護者や地域の方への言葉使いやマナー、電話対応の仕方を学ぶ機会が少ないと考え、ご案内しているところです。

また「学校と地域の協働のための研修会」は、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む“地域とともにある学校”へと転換を図るために、学校と地域の連携・協働のあり方について学ぶ研修会です。学校と地域の協働がうまくいっている事例発表や協働を図るための手段（財源）としての学校支援地域本部事業の手続きの方法の説明など、次年度からすぐに着手できるような具体的な内容の研修になっています。

『学校教育指導指針』には、学校教育の重点に「義務教育の充実」を掲げ、共通事項として取り組む内容に「家庭・地域との協働による学校経営」を記しています。その中で、岩手の義務教育の目的を実現するための強化の方向性として「学校と家庭の信頼関係の構築」や「学校・家庭・地域の連携・協働による子どもの人間形成」を明記しています。先生方、夏休みに保護者との信頼関係を築く言葉遣いやマナー、連携・協働の具体的な姿やその手段（財源）を学びに来ませんか？

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

２．教振なう！　　『全国初！ネット依存から脱却させる合宿』

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

（振ちゃん）やっほ～、夏休みだ～！イェ～！

（教ちゃん）振ちゃん、今日はテンション高いわね。

（振ちゃん）だって、待ちに待った夏休みだもん。

（教ちゃん）夏休みはどこかに行くの？

（振ちゃん）うん。瀬戸内海の住民のいない離島でやる８日間の合宿に行くんだ。大冒険だよ～！

（教ちゃん）いいわね。

（振ちゃん）キャンプファイアやカヌーをやるんだって・・・。

（教ちゃん）楽しそうね。振ちゃん、ひとりで行くの？

（振ちゃん）うん。でもね、小学５年から１８歳以下の小中高生が集まる兵庫県主催の全国初の取組なんだって。

（教ちゃん）全国初？それって「スマホによるネット依存から脱却させるための合宿」のことじゃない？

（振ちゃん）？？？

（教ちゃん）兵庫県では、高校生の 98%、小中学生の約半数が携帯電話やスマホを持っていて、小中高生の 6.4%がスマホを手放せないネット依存の疑いがあるんだって！

（振ちゃん）ぼく・・・ネット依存じゃないよ。でも、離島に行くのにスマホや携帯電話を持って行っちゃいけないなら、誰とも連絡を取れないよね。

（教ちゃん）あえて持ち込みは認めるけど、最初に預けて、自由時間に１時間だけ、許可された部屋でのみ使用を認めるの。自由時間に友だちと遊ぶことができるのに、部屋に籠もってネットをやる理由を考えさせるのがねらいなのよ。

（振ちゃん）自然の中で、ネット漬けになっている自分の生活を見直す合宿なんだね。

（教ちゃん）そうね。スマホの地図アプリで目的地に行くことができても、人に道を尋ねながら目的地に辿り着くことができない子。ネットショッピングで商品情報を調べることはできても、お店の店員さんに質問することはできない子。ネットの便利さに慣れて、人と関わることが苦手になってしまっている子どもたちが、そういう自分に気がついて、生活が改善されるきっかけになればいいわね。

（振ちゃん）そうだね。

（教ちゃん）あっ！この合宿の募集対象は、兵庫県に住んでいる子どもだって。振ちゃんは行けないわよ。

（振ちゃん）え～？ガックリ・・・。

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

３．編集後記　　～ピエロが行く！～

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

今週、配信となった「ポケモン GO」。日本に先駆けてサービスを開始したアメリカやオーストラリア等では様々な問題が起こっています。このゲームは、自らの足で歩いて、スマホの画面を通して見る世界に潜んでいるポケモンを探すものですが、ポケモンは公園や建物、駅など様々な場所に潜んでいます。アメリカでは、スマホの画面を見ながら町をうろうろする人が多く、立ち入り禁止場所に入る人もあって警察官が注意を呼びかけている状況です。また、博物館にもポケモンがいて、ゲームをやっている人たちがポケモン目当てに訪れるため、博物館が「ここはゲームをする場所ではありません」と呼びかける事態になっているとのことです。

弁護士が言うには、ポケモンを探すために歩きスマホをしていて人にぶつかり、ケガをさせた場合、ケガの程度によっては過失傷害罪（30 万円以下の罰金等）等に処せられることも。また、ポケモンを捕まえるために他人の土地に入り込んだ場合には、住居侵入罪（3 年以下の懲役または 10 万円以下の罰金）に該当する可能性があると言います。

さらに、商品を買うつもりがないのにポケモンを捕獲するという目的のために店舗などに入った場合、営業妨害となれば威力業務妨害罪（3 年以下の懲役または 50 万円以下の罰金）に該当したり、民事上の損害賠償義務が発生したりする可能性もあるそうです。海外では、ゲームのために深夜徘徊している人がいることも問題になっていますが、日本では 18 歳未満の青少年は夜 11 時以降の徘徊は補導対象です。

夏休みの子どもたちの生活が心配です。「情報メディアとの上手な付き合い方」・・・子ども達に考えさせる必要があるものがまたひとつ増えました。

内閣府サイバーセキュリティーセンターからの注意喚起はこちら。

⇒　http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/reminder_20160721.pdf

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

このメールマガジンは、県内小中学校、社会教育関係者及び生涯学習・ 社会教育に関心を持たれている登録者の皆様に無料で配信しています。 ご意見・ご感想、登録・登録解除は下記アドレスにご連絡ください。 ⇒　E-mail；atu-satou@pref.iwate.jp
メルマガのバックナンバーをセンターＨＰ「まなびネットいわて」で閲覧できます。⇒　http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/

左下の「発行物・刊行物」＞「いわてマナビィマガジン」をクリック

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

発　行：岩手県立生涯学習推進センター　（花巻市北湯口 2-82-13）

編　集：佐　藤　敦　士